

# 序

この度当院が10年前より歩みを進めてまいりました、口腔内リスクを低減するための予防を基軸とした取り組み「トータルヘルスプログラム(T.H.P.)」について書かせていただく機会に恵まれました。

開業して20年が経過しましたが、この間日本の人口は2006年から減少の一途をたどり、疲弊していると言われる歯科医療現場、国民の健康に対する意識の向上や医療の進歩、また海外諸国の事例などを勘案すると、開業当初と同じ医療内容を続けていくことに疑問を抱かざるをえず、10数年前から自由診療分野に力を入れるようになっていました。そんな中多くの恩師と出会い、学び、一緒に研究をするうちに、今回のテーマとして書かせていただくことになった、トータルヘルスプログラムというシステムが構築され現在に至ります。

読み進めていただくとご納得いただけると思いますが、トータルヘルスプログラムは決して特殊な治療ではありません。多くの先人が築きあげてきた方法をもう一度立ち止まって見直し、エッセンスを加えただけのものです。ここ2年程で、約一年半の歯科衛生士へのトレーニング期間を経てトータルヘルスプログラムを医院へ導入する自由診療への取り組み(T-method)にご賛同いただける歯科医院が全国へ広がり、T-method institute というスタディーグループが稼働するまでになってきました。健康寿命の増進を掲げた歯科医院たちの想いは大きな流れとなり始めています。

そんな素晴らしい仲間たちに支えられ、現在取り組んでいる再生療法や多くの症例発表をディスカッションする場として、2015年4月第1回トータルヘルスアカデミーが開催されました。そこに取材にいらしていたデンタルダイヤモンド社との出会いが本書執筆のきっかけとなりました。

これからの歯科業界は、今までの競い合う時代から共に高めあい創り上げる時代へとシフトさせていくことが求められています。私が多くの方々との出会いにより気づき学ばせていただいたように、本書が皆様の日常臨床のヒントに少しでもなることができればこれほど嬉しいことはありません。

最後になりましたが、この本の執筆にあたりご尽力いただいたデンタルダイヤモンド社の皆様、T-method institute の歯科医院、患者さんのためなら日夜努力を惜しむことのない当院スタッフに感謝いたします。

2015年12月

辻村 傑